

## 教育・学校心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》冨家 直明 ( 心理科学部 tomie@hoku-iryo-u.ac.jp )

### 【概要】

学齢期の子どもの発達と教育に関する基礎理論、子どもの心理的問題について理解することに加えて、必要となるアセスメントの方法と心理的支援法を修得することを目的として、将来の公認心理師に必要とされるリテラシーを涵養する。主体的で対話的な学び(アクティブラーニング)を取り入れた授業を行う。

### 【学修目標】

自律・発展的な学修態度を養う。  
教育の現状と教育に関する制度について理解する。  
教育現場において生じる問題及びその背景について理解する。  
教育現場における必要な支援について理解する。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

公認心理師・スクールカウンセラー

### 【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としてスクールカウンセラー等の実務経験を有しており、それらを反映させた授業を行う。